

Performing Arts Meeting in Yokohama 2015

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2015

開催報告書

舞台芸術をつくる人
みる人のための
国際ミーティング

An international meeting for the
"presenters" and "audiences" of
performing arts

開催概要

主催	国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2015 実行委員会 (国際交流基金アジアセンター、公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC - 国際舞台芸術交流センター)
事務局	国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局 (PARC - 国際舞台芸術交流センター内)
会期	2015年2月7日[土] ~ 2月15日[日]
会場	ヨコハマ創造都市センター(YCC)、KAAT 神奈川芸術劇場、BankART Studio NYK ほか
協力	横浜ダンスコレクションEX、BankART1929、公益財団法人横浜観光コンベンションビューロー、株式会社アイ・ティー・シー・エー(三本コーヒーグループ)、フェスティバル/トーキョー
後援	神奈川県、横浜市
提携事業	舞台芸術 AIR ミーティング @TPAM 2015、舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)、Keep PACE with Japan

TPAMは今年で20年目(19回目)を、また横浜での開催は5回目を迎えました。初回から主催団体の一角を担う国際交流基金のアジアセンター設立により、念願のアジア・フォーカスを本格的に始動、TPAMディレクションのディレクターの一人を海外から起用してアジアの新しいアーティストや作品を紹介する他、長期的かつ新たなネットワーク形成を目指してアジアからの国際共同製作(コプロダクション)のプロジェクトを開始するなど、各プログラムに「アジア・フォーカス」を反映。特に東南アジア地域からの参加者は飛躍的に増えるなど、これまで以上に広範な地域から多くのプロフェッショナルにご参加いただきました。

TPAMが同時代の舞台芸術の重要なプラットフォームのひとつとして参加者一人一人のネットワーク形成により役立つ機会となるよう、今後も事務局一同邁進する所存です。

最後になりましたが、ご参加いただきました皆様、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局

参加方法

参加する際の窓口を、舞台芸術を「つくる人」と「みる人」に分け、参加登録料を下げ、追加プログラムを申し込むという前回の形式を踏襲し、さらに今年からTPAMマイページという登録・予約システムを導入した。TPAMマイページよりオンライン上で、公演のチ

ケット予約や、TPAMエクステンションへの参加ができるようになった。このTPAMマイページでは、自分の予約状況が参加者自身で確認できることもあり、今までわかりにくいと言われていたTPAMへの参加方法が、参加者にとって画期的にわかりやすくなった。

舞台芸術を「つくる人」

ウェブサイトにて TPAM 参加登録! → 登録料 ¥3,500 (税込)

- すべてのネットワーキング・プログラムに参加可能
- コンタクトリスト閲覧、エコバッグ、プログラム付
- TPAMショーケースの各種特典あり

自分の予約状況やコンタクトリストを
閲覧できるTPAMマイページ利用可能!

登録すると TPAM マイページより各種オプションに申込み可能

TPAM ディレクション、TPAM コプロダクション予約

※1 演目 無料～¥1,500 (税込)

合計 ¥4,000 (税込) 以上は自動的に料金が何演目でも
定額 ¥4,000 (税込)

※要予約、席数上限あり、1 演目 1 回まで

※ 2/4 までの TPAM マイページからの予約に適用

(会期中 YCC での予約の場合は、定額 ¥4,000 は適用されません)

グループ・ミーティング ホスト登録

※1 テーブル ¥6,000 (税込) ※2 ルーム ¥17,000 (税込)

舞台芸術を「みる人」

プログラムごとにチケットを購入

TPAM ディレクション / TPAM コプロダクション

→ 無料～ ¥2,500

チケット取り扱い

※ チケット かながわ

※ イープラス eplus.jp

※ Peatix peatix.com

TPAM ショーケース

※ 各公演のチケット取り扱い先で購入

舞台芸術 AIR ミーティング @ TPAM 2015

舞台芸術制作者オープンネットワーク (ON-PAM)

※ 各 ¥500 (予約不要・当日のみ)

統計

参加者数

TPAM 参加登録者 (舞台芸術をつくる人)	639人
チケットによる来場者 (舞台芸術をみる人)	3081人
TPAM ショーケース来場者累計	8480人 合計143回公演中
参加国	42カ国 ※参加登録者とアーティスト含む
海外からの参加登録者	183人 ※参加登録者とアーティスト含む
TPAM エクステンション スピード・ネットワーキング ホスト	31人
TPAM エクステンション グループ・ミーティング 参加テーマ	67テーマ
TPAM エクステンション グループ・ミーティング 海外からの参加団体	27団体

プログラム数

TPAM ディレクション	12 演目
TPAM コプロダクション	3 演目、2 展示
TPAM ショーケース	35 団体
TPAM エクステンション スピード・ネットワーキング ミーティング	305 コマ
TPAM エクステンション グループ・ミーティング ミーティング	72 コマ
TPAM エクステンション以外のネットワーキング・プログラム	8 セッション

紙媒体発行数

プログラム	1500部
チラシ	30000部
ポスター	150部

TPAM ディレクション

開設から5回目となる本プログラムでは「アジア・フォーカス」の一環として、シンガポール出身でバンコクを拠点に活躍するタン・フクエンがディレクターの一人に加わった。初の海外ディレクターの参画により各ディレクションの視点の差異も大きくなり、更に

議論を喚起するようになった。他のディレクターも各人2期目以上であることから、おのおの関心に踏み込んだ特色あるプログラミングをおこなった。

Photo: Hideto Maezawa



野村政之 ディレクション

SCOT『トロイアの女』

2月10日(火) 17:00

KAAT 神奈川芸術劇場 ホール

ハイバイ『ヒッキー・カンクートルネード』

2月7日(土) 19:00

2月8日(日) 16:00

KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ

範宙遊泳×Democracy Theatre

『幼女X(日本-タイ共同制作版)』

2月14日(土) 14:00

2月15日(日) 14:00

KAAT 神奈川芸術劇場 中スタジオ

ディレクターとして4期目を迎えた今回は、「アジアが共有する同時代の演劇についてどのような認識を持つことができるか」という問いを掲げ、それぞれ異なった側面から応答する3作品を取り上げた。範宙遊泳はTPAM2014での公演を端緒に東南アジアのカンパニーとのコラボレーションを重ねており、今作はDemocracy Theatre (タイ) が近年取り組み話題を呼んでいる、演出家が字幕を通して直接観客に訴えるという手法を全面的に用いたものとなった。経済先進国で共通する現象である「引きこもり」を主題とするハイバイ作品とともに、作風の背景にTPAM参加者の思考を導いていた。また、戦勝国側の作家が敗者の視点で戦後を描くギリシア悲劇を日本に蘇らせたSCOT作品は25年ぶりの再演となり、鈴木忠志の名をそのメソッドを冠するものとしてのみ見知っていた海外の若い世代の演劇人にとりわけ強い印象を与えた。



Photo: Hideto Maezawa



横堀ふみ ディレクション

ピチェ・クランチェン『Black & White』

2月14日(土) 15:30

2月15日(日) 17:00

KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ

黒沢美香&神戸ダンサーズ

『jazzzzzzzzzzzzzz-dance』

2月14日(土) 17:30

2月15日(日) 19:00

KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ

今回の試みは、<ダンサーの仕事>に注視する、といった至極真っ当な問いをにかけて、2作品の上演を行った。ピチェ・クランチェン『Black & White』では、古典仮面舞踊“コーン”のメソッドを現代に生きるダンサーにとって必要なツールとして読み直したピチェの方法論を身体に根付かせたダンサー達によるパフォーマンスは、作品空間における身体の配置のさせ方、見せ方、身体から放たれる気配さえも振付の一部として精巧に提示し、確かな安定感と明晰さを作品世界にもたらした。黒沢美香&神戸ダンサーズ『jazzzzzzzzzzzzzz-dance』では、若手から確立したキャリアのあるダンサーまで、黒沢美香と長年にわたる協働作業を経たダンサーから初めての者まで、今公演限りの座組として一堂に会した。これらのダンサー達によるパフォーマンスは、ダンサーの自発性を徹頭徹尾問うことで、場に混沌をうねらせ、集団の秩序が自然発生的につくられそうになることに抗った世界を形成し、どの生命体の“生”も肯定されるべきものとして表出させた。

横堀ふみ (NPO法人 DANCE BOX プログラム・ディレクター)

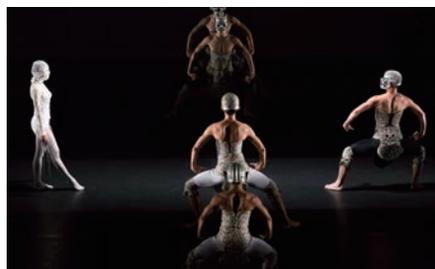


Photo: Hideto Maezawa



タン・フクエン ディレクション

エコ・スプリヤント『Cry Jailolo』

2月15日(日) 15:30

KAAT 神奈川芸術劇場 ホール

ムラティ・スルヨダルモ『I LOVE YOU』

2月11日(水) 13:00-18:00

BankART Studio NYK, NYK ホール

ムラティ・スルヨダルモ

『BORROW+EXERGIE – butter dance』

2月13日(金) 18:30

BankART Studio NYK, NYK ホール

アイサ・ホクソン

『Death of the Pole Dancer』

2月8日(日) 18:00 / 2月9日(月) 18:00

KAAT 神奈川芸術劇場 小スタジオ

アイサ・ホクソン

『Macho Dancer』

2月8日(日) 19:30 / 2月9日(月) 19:30

KAAT 神奈川芸術劇場 中スタジオ

アイサ・ホクソン

Work in Progress『Host』

2月14日(土) 19:30

ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3F

インディペンデントであることを重んじる彼ならではの視点で、東南アジアの現在を映し出すディレクションとなった。都市におけるエンターテイナーの実存をめぐるアイサ・ホクソン(フィリピン)の3部作や、行為を繰り返す身体と記憶の器としての身体とがズレていくムラティ・スルヨダルモ(インドネシア/ドイツ)の2作品は、女性による文化横断的な実践を通じて多くのことを考えさせた。同じくインドネシア出身の振付家エコ・スプリヤントの『Cry Jailolo』は、TPAMでの上演が国内外のフェスティバルへの招聘の決定打となり、新作も期待される。TPAMがプラットフォームとして機能している証左ともなる本ディレクションは、参加者にとっても未知の作品に出会い、大いに触発される機会となった。



Photo: Hideto Maezawa



宮永琢生 ディレクション

BricolaQ

『演劇クエスト・横浜トワイライト』

2月9日(月) - 2月15日(日)

※2月10日(火)は休演

受付:ヨコハマ創造都市センター(YCC) 1F

私が選出した『演劇クエスト』は、日常から演劇を立ち上げる“装置”です。この装置を使って、我々は「観客」として、または「出演者」として、横浜という街でどのように立ち振る舞い、横浜に住む人々とどのように対峙するのか。そして、その瞬間に生まれる“演劇”とは如何なるものなのか。今回、私が問いたかったのは、私たちが会いたい観客はありふれた日常の中に内在し、私たちが生み出したい演劇はすでにそこに“ある”のではないかと、ということです。

何日目の『演劇クエスト』上演中に、参加者自身が横浜の街で暮らす人々とのコミュニケーションから、私たちが意図しなかった新たな演劇的な仕掛けを生み出したことがありました。参加者自身が作品を豊かにしていく。これは、いわゆる劇場型作品では生み出せなかった演劇のカタチなのではないかと思っています。私は今回の試みが、未来の劇場と観客を生み出すヒントになるような気がしています。

宮永琢生 (制作者・プロデューサー)



Photo: Hideto Maezawa

TPAMコプロダクション

アジア圏において共同製作を推進していくにあたり、課題共有・議論・試行の場として新設されたTPAMコプロダクション。公演プログラムでは、コラボレーションやレジデンスの上で制作された作品をラインナップし、協働をめぐる多様な視座を得ることが出来た。ミーティ

ング・プログラムと「アジアン・アーティスト・インタビュー」映像展示を通じて、アーティスト自身の言葉で各活動が紹介され、TPAM参加者に強い興味を引き起こした。プロジェクトの今後の展開にも様々な意見が寄せられたことは、その一端を示すものではないだろうか。

ジェローム・ベル × ピチェ・クランチェン 『ピチェ・クランチェンと私』

2月10日(火) 20:00

2月11日(水) 16:00

KAAT 神奈川芸術劇場 中スタジオ



Photo: Hideto Maezawa

委嘱：タン・フクエン(バンコク・フリンジ・フェスティバル)
コンセプト：ジェローム・ベル
クリエーション：ジェローム・ベル、ピチェ・クランチェン(2004年12月12日、バンコク・フリンジ・フェスティバル)
制作：バンコク・フリンジ・フェスティバル、SACD Le Vif du Sujet(パリ)、モンペリエ・ダンス・フェスティバル2005、R.B. Jérôme Bel(パリ)

助成：アンスティチュ・フランス(パリ本部)、アリアンス・フランス・バンコク、在タイフランス大使館文化部、「フライング・サーカス・プロジェクト」(シンガポール)

主催：アンスティチュ・フランス日本、国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2015 実行委員会

謝辞：Frie Leysen、Mark De Putter

助成：R.B. Jérôme Belは海外公演に対し、イルドフランス地域文化振興局(フランス文化・通信省)と、アンスティチュ・フランス(フランス外務省)のサポートを受けています。

R.B. Jérôme Bel:

芸術顧問：レベッカ・リー

制作マネージャー：サンドロ・グランド



今年よりTPAMにおいて東南アジアにフォーカスしたプラットフォーム作りが本格的に開始されるにあたり、今回アンスティチュ・フランス日本では、2004年バンコク・フリンジ・フェスティバルの際に、フランスの振付家ジェローム・ベルとタイの伝統舞踏家ピチェ・クランチェンによって創作された作品『ピチェ・クランチェンと私』をご紹介します。2月10日、11日の2日間に渡って開催された本公演は、大変な成功を収め、2回公演で280人もの観客を動員しました。特筆すべき点は、観客の80%以上を舞台芸術関係者が占め、国際色豊かな客層であったという点です。とりわけ中国、マレーシア、シンガポール、フィリピン、インドネシアをはじめとするアジアの幅広い地域の方が多くいらっしゃいました。

アーティストも今回の公演の成果に対し大変満足しており、自分たちの作品を日本で紹介できたことを非常に喜んでおりました。このような国際的な芸術作品と観客を結ぶ機会を設けていただき、TPAMの皆様へ心より感謝申し上げます。

ジュリエット・ドウ・シャルモワ(アンスティチュ・フランス横浜 館長)

シャオ・クウ & ツウ・ハン 『Miniascape』

2月12日(木) 19:00

KAAT 神奈川芸術劇場 ホール



Photo: Hideto Maezawa

主催：PARC - 国際舞台芸術交流センター、国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2015 実行委員会

舞台芸術AIRミーティング@TPAM 2015

平成26年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

協力：公益財団法人セゾン文化財団、東山 アーティスト・プレイスメント・サービス(HAPS)、NPO法人フリンジシアタープロジェクト



日本での7週間のレジデンシーを経て、ダンス／演劇／パフォーマンス『Miniascape』をKAAT神奈川芸術劇場で上演した。私たちは、さまざまなバックグラウンドを持つ25人の日本人にインタビューし、日本における社会生活の理解を深め、このダンス、映像、インスタレーション、サウンドからなる1時間のパフォーマンスを作り上げた。パフォーマンスは抽象的な風景としてデザインした。観客は事前に地図を受け取り、この風景へといざなわれる。『Miniascape』は私たちのリサーチを4つのパートとしてコンセプトアライズしており、それぞれのパートが彼らによる同時代の／伝統的な日本についての理解を示している。中国と日本の強いつながりと歴史的な背景から始めて、中国人である私たちアーティストは個人的経験の中により強いつながりを見出した。言ってみれば『Miniascape』は日本と中国の風景をミックスする作品だった。シンプルで明瞭なコンセプトを通して日本滞在の経験を提示したことは、日本と中国に共通する美学に合ったことだった。『Miniascape』の各パートには、漢字を用いた風景画としての造語がコンセプトとして与えられている。

シャオ・クウ

相模友士郎 『天使論』

主催：国際交流基金アジアセンター、KYOTO EXPERIMENT
共催：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2015 実行委員会

2月11日(水) 14:00 / 19:00
KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ



Photo: Hideto Maezawa



『天使論』はTPAM2012で初演され、各地で上演する度にアップデートされ育っていった作品です。そして今回TPAM2015で新たにダンサーのコーンカーン・ルーサワーンを迎えてバンコク、京都、横浜と移動しながらリクリエーションする中で僕が考えたことは、ダンサーが持つ本来的な機能や欲望は彼らが生活する土地の文化的コンテキストに帰属されないのではないか、そして相互に差異化の道具になることを拒否しつつ国際コラボレーションがいかんして可能かということです。その点に関して出演者との対話はもちろん、様々な人が集まるTPAMで、期間中多くの意見を聞くことが出来たのは大きな収穫でした。そして今回の上演をバンコクをはじめ様々な場所で再演する中で改めて検討し、新たな観客のまなざしと共に更新してゆく必要性を強く感じました。また、新しい作品創作を視野に入れ、コーンカーン・ルーサワーンを始めタイとの関係を今後も継続してゆきたいと考えています。

相模友士郎

アジアン・アーティスト・インタビュー

2月7日(土) - 15日(日)
ヨコハマ創造都市センター(YCC) 1F
2月14日(土) - 15日(日)
BankART Mini



Photo: Nobuoka Sato

本プロジェクトはアジアにおける国際共同製作の可能性を模索するための第一歩として始動。本年度はインドネシア、マレーシア、シンガポールの3カ国、計8名の作家にインタビューを行い、映像を展示するとともにウェブサイトにて公開した。本プロジェクトは日本を拠点に活動する作家を現地に派遣し、現地作家の自宅やアトリエ、劇場、また彼らの生活圏の含めて撮影した点が特徴的である。実際に創作の拠点となる場での撮影と、アーティスト同士だからこそ深まる対話は、彼らの思考やそのビジョンを、現地の生々しい空気感とともに伝えることを目指している。今回のインタビューを通じて、作家自身や彼らの抱える課題に対する深い理解を促すと同時に、その背後に透けてみえる各地の社会的・文化的土壌や創作環境に対する認知を向上させたであろう。展示の反響としては、インタビュー展示に対する応答のみならず、プロジェクト自体に対する期待の声も多く寄せられた。本プロジェクトはアジアに適した国際共同製作の在り方を模索する契機であり、重要な楔として、さらに対象国を拡げ継続していく。

中村茜 (パフォーミングアーツ・プロデューサー)



Photo: Hideto Maezawa

TPAMコプロダクション ミーティング・プログラム

アジアン・アーティスト・インタビューとこれからの共同製作

2月8日(日) 10:30-13:00 ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3F
スピーカー：市原幹也(演出家)、奥野将徳(制作者)、塚原悠也(contact Gonzoディレクター)、羽鳥嘉郎(演出家)、マーク・テ(演出家、キュレーター、研究者)

アーティスト・プレゼンテーション1: チョイ・カファイ

2月8日(日) 14:00-15:15 ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3F
スピーカー：チョイ・カファイ(アーティスト)

アーティスト・プレゼンテーション2: 劇場/劇団 デモクレイジー

2月9日(月) 10:30-11:45 ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3F
スピーカー：タナポン・ウィルンハグン(アーティスト、振付家、演出家、ダンサー)、山本卓卓(作家、演出家)

アーティスト・プレゼンテーション3: マーク・テ

2月9日(月) 14:30-15:15 ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3F
スピーカー：マーク・テ(演出家、キュレーター、研究者)

アーティスト・プレゼンテーション4: エコ・スプリヤント

2月9日(月) 16:00-17:15 ヨコハマ創造都市センター(YCC) 3F
スピーカー：エコ・スプリヤント(ソロ・ダンス・スタジオ設立者・芸術監督、振付家)

アーティスト・プレゼンテーション5: ピチェ・クランチェン

2月11日(水) 12:30-13:45 KAAT 神奈川芸術劇場 中スタジオ
スピーカー：ピチェ・クランチェン(振付家、ダンサー)

「アジアン・アーティスト・インタビュー」に関するテーマセッション1回、東南アジアの複数の地域から招聘したアーティストたちによるプレゼンテーション5回、参加者を限定したクローズドなミーティングを3回にわたって実施した。拠点とする地域と創作の関係、例えば検閲の実態や政治状況、組織によるサポートのありようなど、各地のアーティストの活動に密接に関わる課題が、彼らの作品という事例を伴って提示された。アーティストたちが求めるプラットフォームやネットワークの像について意見が交換されることで、具体的に継続可能な共同製作について検討する糸口となった。

TPAMショーケース

TPAM期間中に横浜・東京エリアで公演を行なうアーティストが自主的に登録をし、TPAMを通じて公演や活動を紹介することができるプログラム。参加登録団体数が前年度の24から35に増加、またTPAMマイページを導入したことでTPAMショーケースも予約がしやすくなり予約者数も増加した。

今回、横浜での公演実施を促すために会場紹介を行ったほか、参加団体の収益を保障するために当日精算ではなく事前精算を導入するなど、参加団体へのサポートの強化を試みた。TPAMショーケース参加団体がTPAMを最大限に活用できるように改善の余地は残

るが、TPAMエクステンジやレイトナイト・ミーティング・ポイントに積極的に参加し、参加者と交流する姿も多く見受けられた。

これまで、公募であっても主催演目に引けを取らないことを示すため「ショーケース」という言葉を用いてきたが、一方で通常の使用とは異なることから混乱も生じており、他の公演プログラムとの違いを明確にする必要があることが明らかになった。しかし今後もTPAMの主催演目では紹介しきれないアーティストに出会うことのできるプログラムとして継続・発展させていきたい。

TPAMショーケース出展者コメント

※ TPAM終了後のアンケートにご回答いただいた方のコメントを掲載しております。

中込遊里 (鮭スペアレ)

鮭スペアレ (SYAKE-SPEARE) は、2014年に引き続き2回目のTPAM参加です。1年かけて様々な地域で『ロミオとジュリエット』を上演するという劇団の企画の中で横浜公演として、TPAM2015に参加しました。昨年11月に上演した岩手県一関市では、観客のほとんどは地元の方で、好感的なご意見がほとんどだったのですが、TPAMのお客様には専門的なご意見を頂けたのが劇団として何よりのメリットでした。一方、今後TPAMに参加し続ける時の課題は、私たちの希望する規模や設備を持つ上演場所が横浜・横浜近辺になかなかないということです。今後もTPAMに参加するには、予算と技術の両面で劇団を鍛える必要があります。

矢野靖人 (Shelf)

字幕も用意出来ず英文の構成台本を用意しただけ、という些か準備不足のTPAMショーケース参加でしたが、それでも国内外からのゲストの方々には、とても楽しんでご観劇頂くことができたようで、終演後には熱い感想を多く頂戴いたしました。なかでも俳優のプレゼンスが素晴らしい、というのは最大の賛辞でした。昨年の国際イブセン・フェスティバルへ参加して以降、私たちは、今後海外での活動も視野に入れつつ、しかし今、ここも世界の一隅なのだ、と、shelfの公演は出来るだけすべて、そこを「国際化した場」として設けていこうと企図しています。TPAMのような国際化したプラットフォームに参加できたことは大きな財産です。

田野入涼子 (S20梅田宏明 Somatic Field Project)

今回、梅田宏明の新しいプロジェクトの最初のプレゼンテーションとして『Somatic Field Project + kinesis #1 - screen field』をTPAMショーケースで行いました。国内外の関係者に向けたプレゼンテーションとネットワーキングを目的としていたこともあり、トークや映像作品の上映を含んだ、作品上演のみの公演とは少し異なる内容となりましたが、まだ名の知られていないプロジェクトがそれらを実現するのに、TPAMショーケースは最適の場だったのではないかと思います。スピード・ネットワーキングや、その他のプログラムと合わせて、多くの関係者と出会う大変貴重な機会となりました。

TPAMショーケース出展者一覧

アーティスト/カンパニー名	公演タイトル	会場名	公演日時
artCORE	por la noche	Gallery LE DECO	2月4日(水) - 2月8日(日)
重力 / Note	人形の家	横浜人形の家 あかいくつ劇場	2月5日(木) - 2月7日(土)
オペラシアターこんにやく座	オペラ『白墨の輪』	世田谷パブリックシアター	2月6日(金) - 2月8日(日)
齊藤栗子 / 南弓子 / かえるP / 斎藤コン / 大東京舞踊団 / 新宅一平 / 山岡ミヤメル (Mer)	アニマル ラウンジ	さくらWORKS	2月7日(土) - 2月8日(日)
絹川友梨 / インプロ・ワークス	完全即興3「にてひにて」	nitehi works	2月6日(金) - 2月8日(日)
革命アイドル暴走ちゃん	004 ゲリラ・ジャパン at 横浜	横浜某所数力所	2月12日(木)、2月14日(土)
カダムジャパン (インド舞踊)	東京ガラナ Showing+Workshop	スタジオワークル渋谷 Room No.102	2月8日(日)、2月11日(水)、2月15日(日)
関かおり PUNCTUMUN	マアモント	横浜にぎわい座 のげシャール	2月8日(日) - 2月9日(月)
仕立て屋のサーカス -circo de sastre-	『シャビの恋』、『旅立ちのラルウ』	象の鼻テラス / VACANT	2月8日(日)、2月14日(月)
大道寺梨乃	ソーシャルストリップ	ドゥイ山	2月8日(日) - 2月10日(火)
レナター・ピオトロスカ	ポーランド若手振付家協働企画『Untitled』 『Death. Exercises and variations』	STスポット	2月8日(日) - 2月10日(火)
マームとジプシー	カタチノチガウ	横浜美術館	2月9日(月) - 2月13日(金)
Sebastian Matthias & Team	study / groove space (Tokyo)	横浜赤レンガ倉庫1号館 2Fスペース	2月9日(月) - 2月10日(火)
SO & CO. 上田創ダンスカンパニー	ウニラム	恵比寿 site	2月10日(火) - 2月11日(水)
空転軌道	D.E.	シアター風姿花伝	2月10日(火) - 2月11日(水)
鈴木ユキオ × 山川冬樹	Lay/ered	nitehi works	2月10日(火)
ダンスアーカイブプロジェクト2015	岡登志子・垣尾優「手術室より」、大野慶人「タンゴ」 川口隆夫「大野一雄について」、プロジェクト大山「をどるばか」	BankART Studio NYK 3F Gallery	2月10日(火) - 2月15日(日)
goat / 空間現代	Minimal Maximal Music	六本木スーパードラックス	2月10日(火)
空(utsubo)	リューストラテ	Archship Library & Cafe 吉田町	2月11日(水) - 2月15日(日)
ももろぞうさん	おもちゃ箱の中身は、	AFR Yokohama	2月11日(水)、2月14日(土)
鈴木優理子 / キム・ボラ / 中村蓉	横浜ダンスコレクションEX 受賞者公演	横浜赤レンガ倉庫1号館 3階ホール	2月11日(水)、2月13日(金)、2月15日(日)
開幕ベナントレース	1969 : A Space Odyssey ? Oddity !	下北沢小劇場楽園	2月11日(水) - 2月15日(日)
富士山アネット / The Absence of the City Project	富士山アネット [Attack On Dance] FujiyamaAnnette x Dance Theatre 4P 国際共同制作 [Black Tomatoes]	横浜にぎわい座 のげシャール	2月12日(木) - 2月15日(日)
篠田千明	The 5 x 5 Legged Stool -四つ脚の機劇より	高架下スタジオ Site-D 集会場	2月13日(金) - 2月15日(日)
S20 梅田宏明	Somatic Field Project + kinesis #1 - screen field	横浜赤レンガ倉庫1号館 2階スペース	2月13日(金) - 2月14日(土)
アジアで上演するプロジェクト	5 調査と共有	blanClass	2月13日(金)
shelf	shelf volume 19 [deprived]	さくらWORKS	2月13日(金) - 2月14日(土)
岡崎藝術座	+51 アピアシオン, サンボルハ	STスポット	2月13日(金) - 2月20日(金)
鮭スペアレ	ロミオとジュリエット	黄金町 八番館	2月14日(土) - 2月15日(日)
ミス・ユニバース	SSLLLOOOWWWW Network	blanClass	2月14日(土)
DEVIATE.CO	ダンスパフォーマンス [不/可視の領域]	長者町アートプラネット Chapter2	2月14日(土) - 2月15日(日)
インテグレイテッド・ダンス・カンパニー響-Kyo	『知るということ』公開リハーサル	江戸川区総合文化センター	2月14日(土)
声明の会・千年の聲	スパイラル「聲明」コンサートシリーズvol.23 千年の聲 明恵上人「四座講式」800年紀—語りもの源流	スパイラルホール(スパイラル3F)	2月14日(土) - 2月15日(日)
井上大輔 / イ・サンファン	日本-韓国ダンス交流プロジェクト DANCE CONNECTION 『罇中/解』	象の鼻テラス	2月14日(土) - 2月15日(日)
吉野美亜 / 新進プロジェクト	「新」コミュニケーション芸術プロジェクト -哲学xダンス-	さくらWORKS	2月15日(日)

TPAMエクステンジ

前回実施した、ブースやスタンドを撤廃し、スピード・ネットワーキングとグループ・ミーティングを拡張した形式を踏襲し、その形式を今回で確立することができた。昨年の大きな変化が好評となり、国内外の参加者数も増え、スピード・ネットワーキング、グループ・ミーティングともにミーティングの数も増えた。TPAMエクステンジが行われた2日間はあいにくの大雪に見舞われ、交通機関も乱れたが、大変な状況の中たくさんの参加者が来場してくださり、昨年以上に賑わっていた。今回の反響も大きく、参加者のTPAMエクステンジへの期待を感じる回となった。



Photo: Hideto Maezawa

2月11日(水) 11:30-17:00

2月12日(木) 11:30-17:00

BankART Studio NYK 2F

スピード・ネットワーキング ホスト一覧(名字アルファベット順)

※肩書等はTPAM2015開催時点

名前	肩書き	国/地域
藤田 直義	高知県立美術館 館長	高知
イツイク・ジュリ	Israel Festival(2015)、“Curtain Up” Dance Festival(2014) 芸術監督/劇作家、ドラマトゥルク、演出家、俳優	イスラエル
マーチン・ヤコビー	アダム・ミツケヴィッチ・インスティテュート プロジェクト・アジア・マネージャー	ポーランド
蔭山 陽太	ロームシアター京都 支配人/エクゼクティブディレクター	京都
唐津 絵理	愛知県芸術劇場 シニアプロデューサー、あいちトリエンナーレ2016 キュレーター	愛知
小島 寛大	フェスティバル/トーキョー 副ディレクター	東京
ミロスラヴァ・コヴァージョヴァー	国際ダンスフェスティバル[Bratislava in Movement] 芸術監督	スロバキア
ローレンス・クンプ	ISSUE Project Room 芸術監督	アメリカ
黒田 裕子	金沢21世紀美術館交流課 プログラム・コーディネーター	石川
森 忠治	せんだい演劇工房 10-BOX プログラムオフィサー	宮城
中富 勝裕	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ダンス部門プロデューサー	神奈川
サラC. ナッシュ	ニューイングランド・ファウンデーション・フォー・ジ・アーツ ナショナル・ダンス・プロジェクト プログラム・マネージャー	アメリカ
小野 晋司	DANCE NEW AIR プロデューサー	東京
ガーボル・ピンテル	Parallel Foundation / Touchpoint Art Foundation コーディネーター	ハンガリー
クリス・レイノルズ	ハーバーフロントセンター・パフォーミングアーツ部門 アーティスティックアソシエイト	カナダ
マイク・リバルタ	FiraTàrrega - カタルーニャ舞台芸術見本市 国際部門ディレクター	スペイン
齋藤 啓	鳥の劇場 制作担当	鳥取
坂田 雄平	福岡 北九州芸術劇場 / [北九州芸術工業地帯] [ダンスダイブウィーク] 担当	福岡
崎山 敦彦	KAAT 神奈川芸術劇場 チーフプロデューサー	神奈川
マリアナ・ガンダーラ・サラザール	El Chopo University Museum 舞台芸術キュレーター	メキシコ
下山 久	[国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ] 総合プロデューサー・芸術監督、エーシーオー沖縄(芸術文化協同機構) 代表	沖縄
ウォン・ジ・シヨン	Damansara Performing Arts Centre(DPAC) 芸術監督/プログラムディレクター/フェスティバルディレクター	マレーシア
杉崎 栄介	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 アーツコミッション・ヨコハマ担当リーダー	神奈川
ヤナ・スヴォボドヴァー	アルハ・シアター Akcent Festival 芸術監督	チェコ
高萩 宏	東京芸術劇場 副館長	東京
アンドレア・トミオカ	サンパウロ市文化センター ダンスキュレーター	ブラジル
テイ・トン	劇団[シアターワークス] マネージング・ディレクター/ Singapore International Festival of Arts フェスティバルディレクター補	シンガポール
モニック・ヴォートゥ	ローマ・ヨーロッパ財団委員長	イタリア
サンカール・ヴェンカテシュラン	ケララ国際演劇祭 芸術監督	インド
シンタ・ウィボヴォ	Sideways Walking Arts Festival アジア-ヨーロッパ クリエイティブ・プロデューサー	ベルギー
横山 義志	SPAC- 静岡県舞台芸術センター 海外招聘プログラム担当	静岡

グループ・ミーティング テーマ一覧

※重複するテーマは一つだけ掲載

タイトル	ホスト
アーツカウンシル東京の助成プログラムについて	佐野晶子、佐藤道元(アーツカウンシル東京 [公益財団法人東京都歴史文化財団])
公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団の助成活動について	竹田義信(公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団)
舞台芸術で中国と世界をつなごう	シュ・ミーイー、チョウ・イナ(Ping Pong Productions)
シンガポール演劇と共同制作：現状、政策、プラットフォーム	滝口健(シンガポール国立大学リサーチフェロー)
Amrita Performing Arts：カンボジアのコンテンポラリー・ダンスの旅	Rithisal Kang (Amrita Performing Arts)
文化発信の未来を考える～(ハンドメイド)で(オープン)なトーキョーカルチャーって？	森隆一郎(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室)
ACCのフェロシッププログラムについて	吉野律(アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC))
[Keep PACE with Japan]とチェコ、スロバキアとの国際協働の可能性	エリスカ・チェマ(芸術劇場インスティテュート(プラハ) PR マネージャー)
あうるすぽっとタイアップ(提携)公演について	ワザキ浩実、岸本匡史、中川歩美(あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター))
国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわの独自の取り組みについて	宮内奈緒、弓井茉莉(国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ)
あうるすぽっとの国際交流事業について	岸正人、ワザキ浩実(あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター))
路(大道芸)と劇場を繋げる可能性について	紙磨呂(浅草パフォーマンスプレイス実行委員会)
セゾン文化財団のヴィジティング・フェロー	稲村太郎(公益財団法人セゾン文化財団)
若手制作者のつどい	野村政之((公財)沖縄県文化振興会、こまばアゴラ劇場、劇団青年団等)
アンサン・ストリート・アーツ・フェスティバルについて	Jong - Yeoun Yoon (アンサン・ストリート・アーツ・フェスティバル、アンサン文化財団)
文化予算倍増キャンペーンの呼びかけ	岸正人(あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター))
マレーシアとつながる	イザン・シャトリナ(My Performing Arts Agency(MyPAA))、 JSウォン(Damansara Performing Arts Centre(DPAC))
KAMSを通しての国際交流	ミシェル・イ(Korea Arts Management Service 国際発展部 プログラム・コーディネーター)
ゾフィーエンゼーレとタンツターゲ・ベルリン	アンナ・ミュルター(ゾフィーエンゼーレ)
Theater Explorers Association (TEXAS) 設立記念プレゼンテーション	小田嶋裕太(Theater Explorers Association (TEXAS))
劇場、音楽堂等連絡協議会	眞野純(会長)、高萩宏(事務局長)、岸正人(事務局)
みんなで一緒に舞台を楽しもう～観劇サポートについて	廣川麻子(特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク)
芸術と社会貢献活動について	厚地美香子(NPO法人あっちこっち)
イランの伝統演劇	マジッド・サーランギー(テヘラン大学 准教授)
ヒップホップ/コンテンポラリー/ベトナムの伝統	Thanh Nguyen Duy(J-Buddha)
NOVOFLOT ベルリン発実験的オペラ	スヴェン・ホルム(ノヴォフロート)
古都・奈良で芝居をすることについて	北橋奈実(劇団EVENT-STATION.)
国内移住	野村政之((公財)沖縄県文化振興会、こまばアゴラ劇場、劇団青年団等)
多摩エリアの舞台芸術の発信・創作拠点として～たちかわ創造舎がめざすもの～	倉迫康史、陽茂弥(たちかわ創造舎)
人材育成と労働環境整備のための中間支援組織Explatの活動紹介	植松侑子、藤原顕太、中川歩美、蓮池奈緒子(Explat)
「ままごと」が小豆島にいる理由	宮永琢生(ままごと ZuQnZ)
ブルネイの舞台芸術と観客育成	Shahminan Yasin(ブルネイ文化青年スポーツ省 文化芸術課)
パーソナルなものとポリティカルなもの：同時代のマレーシアに対するファイブ・アーツ・センターの応答	June Tan(ファイブ・アーツ・センター)
舞台芸術制作者たちが今抱えている問題や悩みとは？	植松侑子、藤原顕太、中川歩美(Explat)
中国の若手の演劇活動と北京フリンジフェスティバル	Shao Zehui (北京フリンジフェスティバル)
「ビヨンド・プレッシャー」フェスティバル	モ・サ(ビヨンド・プレッシャー)
舞台芸術フェスティバルと社会的包摂について～米国事例と取り組み～	ロン・ベリー(フーズボックス・フェスティバル芸術監督兼エグゼクティブディレクター)、 MKウエグマン(ナショナル・パフォーマンス・ネットワーク代表取締役)
NPN アイデア・フォーラム	Parichat Jungwittanaporn(タンマサート大学 純粋美術・応用美術学部長)、Thanapol Virunhakul、 Pavinee Samakabutr(デモクレイジー劇場 共同ディレクター/バンコク・シアター・フェスティバル プロ デューサー)
バンコクの演劇シーンの今：スペース、アーティスト、コラボレーション	Wasurat Unaprom(演出家 / Thong Lor Art Space Bangkok 共同プロデューサー/バンコク・シア ター・フェスティバル プロデューサーチームメンバー)
インクルーシブでインタラクティブなヴィジュアル・アートを公共空間で幅広い観客に届ける	マド・エレンボルク(Architects of Air)
アーツコミッション・ヨコハマ 助成制度のご紹介	池尻美紀(ヨコハマ創造都市センター[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団])
2016年度公募プログラムについて 温泉の街 レジデンス、スタジオが無料/温泉は1日100円	西山葉子(城崎国際アートセンター)
お茶会演劇「珠光の庵」の紹介と海外公演をすることについて	植村純子(劇団衛星)
ラオスの演劇について	Lattanakone Insisengmay(劇団「カオニャオ」代表)、Kiritin Norath(通訳)
ダンスカンパニー・ニプロール最新作「リアルリアリティ」の紹介	奥野将徳(ブリコグ)
スペイン・カタルーニヤの舞台芸術シーン	リバルタ・マイク(FiraTàrraga 国際交流ディレクター)
フェスティバル/トーキョーについて	市村作知雄、小島寛大(フェスティバル/トーキョー)
ゴーゴリ・センター・ミーツ・アジア	タチアナ・アゾヴァ(ゴーゴリ・センター 副マネージング・ディレクター、モスクワ)
チェルフィッチュ/岡田利規 近年の活動と創作中の新作紹介	ケティング葉々(ブリコグ)
フェスティバル/トーキョー アジアシリーズについて	市村作知雄、河合千佳(フェスティバル/トーキョー)
KAMSを通しての国際交流	ミシェル・イ(Korea Arts Management Service 国際発展部 プログラム・コーディネーター)
マニラをサポートしよう！フィリピンの Sipat Lawin Ensemble と観客参加	JK Anicoche, Sarah Salazar(Sipat Lawin Ensemble)
あいちトリエンナーレ2016	唐津絵理(あいちトリエンナーレ実行委員会)
Next が実施する若手制作者の育成プログラムについて	藤原顕太(Next)
ダンス分野のための持続的思考	カタリーナ・リンホルム(Dance Info Finland プロジェクト・マネージャー)
舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM) の活動について	齋藤啓、川口聡(舞台芸術制作者オープンネットワーク (ON-PAM) 理事)
TPAMでの出会いが、ポスニア+イタリア5都市ツアーへ!	ルイーサ・ズッフォ、林香葉、門田美和(マームとジプシー)
KAAT 神奈川芸術劇場 海外向けツアー教育普及プロジェクト	伊藤文一、石井宏美(KAAT 神奈川芸術劇場事業制作第二課)
国際演劇協会(International Theatre Institute ITI) 各国センター、および日本センターの取り組み	曾田修司(公益社団法人国際演劇協会日本センター)
ヴィジュアル・シアターの交流	Anne Jämsä(WHS contemporary circus & visual theatre 共同芸術監督)
インドネシアのコンテンポラリー・パフォーミング・アーツ：多様性、歴史、社会的リアリティを表出する舞台芸術	アムナ・クスモ(クローラ財団設立者・ディレクター)、ヘリー・ミナルティ(ダンス研究者/インドネシア・ ダンス・フェスティバル芸術監督)、ユディ・タジュディン(テアトル・ガラシ芸術監督)
“アジアの絆を強くする。”国際交流基金アジアセンターについて	大内桃子(国際交流基金アジアセンター)
セゾン文化財団の公募プログラムについて	福富達夫(公益財団法人セゾン文化財団)
Intervention in Theatre	危口統之(悪魔のしるし)
アフタートークだけじゃ物足りない! 観劇体験を深めるワールド・カフェのススメ	平松隆之(静岡から社会と芸術について考える合宿WS ファシリテーター、劇団うりんこ/うりんこ劇場)
カナダの活動/ハイバイ、サンプルの作品紹介	三好佐智子(有限会社 quinada)
国際交流基金の支援事業について	佐藤幸治、稲田充弘(国際交流基金アジアセンター)、別府将史(国際交流基金文化事業部)

TPAMの提携事業として、舞台芸術AIRミーティング@TPAM2015を実施した。TPAMの主催団体のひとつであるPARC - 国際舞台芸術交流センター主催によるプログラム。今回で3回目の開催となる。TPAM2015に参加しているアーティスト、シャオ・クウ×ツウ・ハン、アイサ・ホクソン、ムラティ・スルヨダルモが登場し、自身のアーティスト・イン・レジデンスの活動を発表し共有した。TPAMで上演された作品が日本でのレジデンスの機会を経て作られた作品だったこともあり、関心も高く有意義な発表となった。



[セッション1]

アジアにおけるレジデンス・プログラムについて その1 — 日本での滞在による事例から

2月15日(日) 10:00-12:00

BankART Studio NYK 2F

スピーカー：シャオ・クウ、ツウ・ハン、アイサ・ホクソン



[セッション2]

アジアにおけるレジデンス・プログラムについて その2 — 東南アジアの事例から

2月15日(日) 13:00-15:00

BankART Studio NYK 2F

スピーカー：ムラティ・スルヨダルモ、アルコ・レンツ



主催：PARC - 国際舞台芸術交流センター

共催：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2015 実行委員会

平成26年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業



舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)

今回でTPAMでの開催が3回目となる。舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)の報告会、総会、シンポジウムを実施した。ON-PAM会員に向けた2014年の活動を振り返る報告会、定期総会に加えて、会員でなくても参加できるシンポジウムも開催。TPAM参加者も含む多くの参加者が集まった。



報告会

2月13日(金) 10:00-11:30

BankART Studio NYK 2F

舞台芸術制作者オープンネットワーク定期総会

2月13日(金) 11:30-12:30

BankART Studio NYK 2F

特定非営利活動法人

舞台芸術制作者オープンネットワーク設立総会

2月13日(金) 13:30-15:00

BankART Studio NYK 2F

シンポジウム vol.1 : アジア会議に向けて

2月14日(土) 10:00-12:00

BankART Studio NYK 2F

シンポジウム vol.2 : これからの制作者のキャリア形成と「学び」

2月14日(土) 13:00-15:00

BankART Studio NYK 2F

主催：舞台芸術制作者オープンネットワーク
共催：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2015 実行委員会
助成：公益財団法人セゾン文化財団

Keep PACE with Japan

「Keep PACE with Japan」(日本と足並みを揃える)では、中欧V4諸国(スロヴァキア、チェコ、ポーランド、ハンガリー)の現代舞台芸術を紹介する機会となった。TPAMエクステンジと同日に開催し、場所も同じBankART内にある開放的なスペースBankART Miniで行われたため、多くのTPAM参加者が参加していた。



Photo: Hideto Maezawa

2月11日(水) 11:30-17:00

2月12日(木) 11:30-17:00

BankART Mini

参加アーティスト:

サルカ・オンドリソヴァ

ラドスラヴ・ピヴォヴァルシ

ペトラ・フォマヨヴァ

ヤクブ・ホラ

ヴィリアム・ドコロマンスキー

エヴァ・ケスロヴァ

エリスカ・チェマ

バヴラ・ペトロヴァ

主催：Theatre Institut Bratislava (Slovakia),
Art and Theatre Institute Praha (Czech Republic)

その他交流プログラム

毎年開催しているオープニング・レセプションとクロージング・パーティーに加え、昨年からはじめ、好評いただいたレイトナイト・ミーティング・ポイントを今年も引き続き開催した。場所をメイン会場

の1つであるBankART Studio NYKのすぐ近くの飲食店「アマゾン・クラブ」に移し、お店の方の協力もあり昨年より多くの参加者が集まり、参加者同士のネットワークを広げる機会となった。

オープニング・レセプション

2月10日(火) 15:00

ヨコハマ創造都市センター (YCC) 1F



Photo: Hideto Maezawa

レイトナイト・ミーティング・ポイント

2月7日(土) - 14日(土)

21:00 - 1:00 (ラストオーダー: フード 24:00、ドリンク 24:30)

アマゾンクラブ

クロージング・パーティー

2月15日(日) 21:30

ヨコハマ創造都市センター (YCC) 1F



Photo: Hideto Maezawa

成果レポート

TPAMをきっかけとして、次なる活動の場を広げた団体のレポート。TPAMディレクション、宮永琢生ディレクションで参加したBricolaQ『演劇クエスト』は、今回の参加をきっかけに活動の場が国内にとどまらず海外に広がっている。その第一歩となったフィリピンでの滞在のレポートを藤原ちからさんからいただいた。

編集者・批評家・BricolaQ主宰

藤原ちから

TPAMで出会ったJK・アニコチェとサラが招聘してくれて、彼らが主宰するKARNABAL フェスティバル（マニラ）に参加した。批評家として海外に赴いたことはあっても、『演劇クエスト』としては初の海外挑戦。マニラは想像以上に貧富の差が激しく、治安も衛生環境も劣悪だが、人々はたくましく生きていた。JKたちにとってアートとはおそらく、この世界を生き抜く術であり、この世界を変革する魔法でもある。KARNABAL

には、14歳の少年少女から90歳超えのドラッグクイーンまで参加していて、「安全な客席から観る」だけの演目はひとつもなかった。わたしは19日間滞在し、現地のアーティストと組んでリサーチ、議論、ワークインプログレス等を行い、心の奥底にマニラの風景を刻み込んだ。KARNABALは3年計画とのこと。マッカーサーを真似して「I shall return」と約束してきた。ここから始まるものがきっとあるだろう。



主な掲載媒体

新聞	掲載媒体名	掲載日/号	内容など
	The Japan Times	2015年1月29日	TPAM紹介
	朝日新聞 夕刊	2015年2月6日	TPAM紹介
	神奈川新聞	2015年2月15日	『Cry Jailolo』
	産経新聞	2015年2月19日	ムラティ・スルヨダルモ作品レビュー
	日本経済新聞	2015年3月5日	TPAM紹介
	公明新聞	2015年4月15日	『ピチエ・クランチェンと私』レビュー
雑誌	掲載媒体名	掲載日/号	内容など
	シアターガイド	2015年2月2日	『演劇クエスト』情報
	テアトロ	2015年3月13日	アイサ・ホクソン レビュー
	DANCEART	No.41	開催告知
ラジオ	番組名	放送月日	内容など
	NHK FM 横浜 サウンド・クルーズ	2015年2月2日	ゲスト: 藤原ちから、丸岡ひろみ (TPAMディレクター)、山崎奈玲子 (TPAM 広報)
	FM YOKOHAMA MORNING STEPS	2015年2月5日	ゲスト: 藤原ちから、山崎奈玲子 (TPAM 広報)
WEB	掲載媒体名	掲載日/号	内容など
	Next Online	2014年8月28日	TPAMショーケース募集
	Performing Arts Network Japan	2014年9月12日	TPAMショーケース募集
	Next Online	2014年12月26日	開催告知
	CINRA.NET	2015年1月22日	開催告知
	Performing Arts Network Japan	2015年1月22日	山本卓卓 ロングインタビュー
	The Japan Times	2015年1月28日	TPAM紹介
	マグカル	2015年1月29日	TPAM特設ページ
	TOKYO ART BEAT	2015年1月30日	『Cry Jailolo』公演情報
	TOKYO ART BEAT	2015年1月30日	『Black&White』公演情報
	Performing Arts Network Japan	2015年2月2日	開催告知
	創造都市横浜	2015年2月4日	丸岡ひろみ (TPAMディレクター) インタビュー記事
	創造都市横浜	2015年2月4日	シャオ・クウ×ツウ・ハン インタビュー記事
	朝日新聞 DIGITAL	2015年2月5日	TPAM紹介
	CINRA.NET	2015年2月6日	山本卓卓インタビュー
	Performing Arts Network Japan	2015年2月9日	国際交流基金およびアジアセンター招聘者決定情報
	TimeOut Tokyo	2015年2月10日	『ピチエ・クランチェンと私』公演情報
	マグカル	2015年2月10日	山本卓卓 インタビュー
	Dream News	2015年2月12日	TPAM紹介
	ヨコハマ経済新聞	2015年2月14日	『Black&White』公演情報
	ヨコハマ経済新聞	2015年2月14日	『幼女X』公演情報
	BankART 1929 BLOG	2015年2月16日	TPAMエクスチェンジ レポート
	産経ニュース	2015年2月19日	『I LOVE YOU』『BORROW - EXERGIE butter dance』レビュー
	Dance webzine	2015年2月下旬	TPAM レポート (韓国媒体)
	マグカル	2015年5月25日	タン・フクエン インタビュー
	マグカル	2015年3月20日	鈴木忠志 アフタートーク
	アジアジーン	2015年4月1日	TPAMエクスチェンジ レポート
	アジアジーン	2015年4月8日	『Cry Jailolo』レポート
	Performing Arts Network Japan	2015年3月31日	タン・フクエンインタビュー
	ローチケ演劇宣言!	2015年5月19日	岩井秀人 インタビュー
	ele-king	2015年6月5日	『幼女X』レビュー
ブログ	掲載媒体名	掲載日/号	内容など
	exblog ガドガド	2015年1月28日	インドネシア演目紹介
	BricolaQ blog	2015年2月1日	マンスリー・プリコメンド
	BricolaQ Blog (diary)	2015年2月9日	『演劇クエスト』について
	BricolaQ Blog (diary)	2015年2月16日	TPAMレポート
その他	掲載媒体名	掲載日/号	内容など
	BankART NEWS	2015年12月15日	BankART 演目 紹介
	ままごとの新聞	2015年1月1日	宮永ディレクション
	ミューぼん	2015年2月12日	Cry Jailolo 割引
	ミューぼん	2015年2月12日	Black & White 割引
	おにぎり弁慶 F ページ	2015年2月13日	TPAMエクスチェンジ
	togetter	2015年2月16日	演劇クエストまとめ
	togetter	2015年3月4日	TPAM2015まとめ



ご意見、ご質問など、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ：

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局
(PARC - 国際舞台芸術交流センター 内)

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 3-1-2 サウスビル 3F

TEL 03-5724-4660 FAX 03-5724-4661

www.tpam.or.jp

編集・発行：国際舞台芸術ミーティング in 横浜 事務局

© 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2015 実行委員会 許可なき転載・複写を禁ず